

公共施設に関する市民アンケート調査結果概要

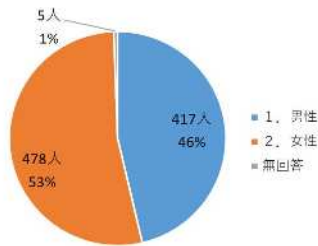
速 報

【調査概要】

- 調査目的** 第2次南砺市公共施設再編計画の見直しにあたり、無作為に抽出した市民の公共施設の利用状況及び公共施設のあり方に関する考え方について調査し、今後の方向性を検討する際の基礎資料とすることを目的とする。
- 調査方法**
 - (1)調査地域： 南砺市全域
 - (2)抽出方法： 住民基本台帳から2,000人を無作為抽出
 - (3)調査方法： 郵送調査(R2.7.14発送、R2.8.31消印有効)
- 調査内容**
 - (1)回答者の属性
 - (2)過去1年間の公共施設の利用状況(スキー場については過去2年間)
 - (3)公共施設の今後のあり方について
- 回収状況**
 - (1)配布数： 2,000人
 - (2)回答数： 900人
 - (3)回収率： 45.0%

5. 回答者属性

《質問内容》あなたの性別はどちらですか(一つに○)



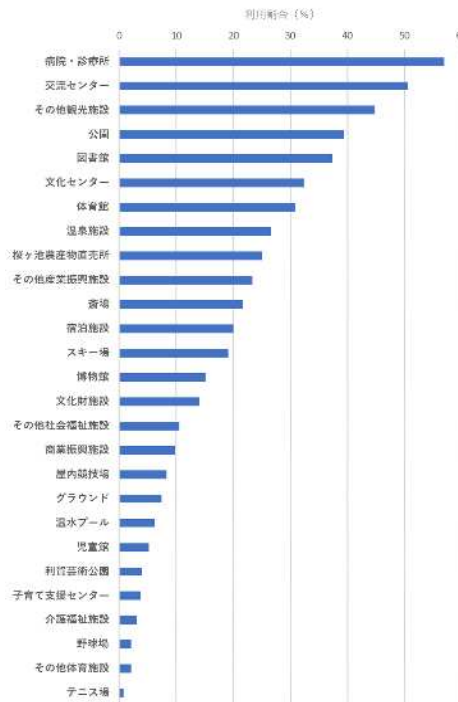
あなたの年齢は次のどれですか(一つに○)



6. 公共施設の利用状況

《質問内容》あなたは、南砺市の公共施設を過去1年間でどのくらい利用しましたか
(令和元年8月～令和2年7月までの間、ただし、スキー場については過去2年間)

順位	回答項目	回答数	利用割合 (%)
1	病院・診療所	512	56.9
2	交流センター	455	50.6
3	その他観光施設	403	44.8
4	公園	355	39.4
5	図書館	337	37.4
6	文化センター	291	32.3
7	体育館	277	30.8
8	温泉施設	239	26.6
9	桜ヶ池農産物直売所	225	25.0
10	その他産業振興施設	210	23.3
11	斎場	195	21.7
12	宿泊施設	180	20.0
13	スキー場	172	19.1
14	博物館	136	15.1
15	文化財施設	126	14.0
16	その他社会福祉施設	95	10.6
17	商業振興施設	88	9.8
18	屋内競技場	75	8.3
19	グラウンド	67	7.4
20	温水プール	56	6.2
21	児童館	47	5.2
22	利賀芸術公園	36	4.0
23	子育て支援センター	34	3.8
24	介護福祉施設	28	3.1
25	野球場	19	2.1
26	その他体育施設	19	2.1
27	テニスコート	7	0.8



7. 公共施設の今後のあり方について

《質問内容》公共施設の課題解決にむけて、様々な取り組みを検討する必要があります
あなたは下記の取り組みについてどう思いますか

凡例：

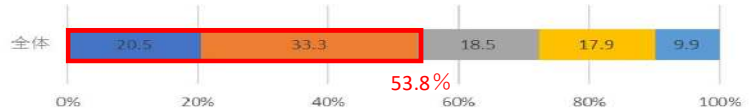


(1) 施設を集約化・複合化することなどによって施設数を減らす



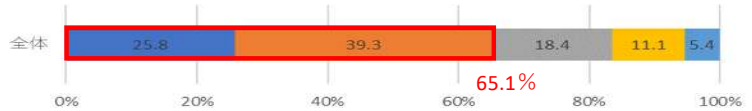
施設を集約化・複合化により減らすことを肯定的な回答した人が7割以上となり、60歳代まで年代が上がるにつれて割合が増える傾向が見られた。

(2) 近隣市町と共同で施設を建設運営する



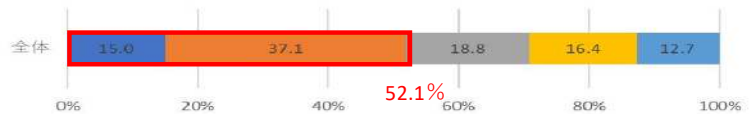
近隣市町と共同で施設を建設運営することを肯定的な回答をした人が過半であった。年代別には30歳代と60歳代の割合が高く見られた。

(3) 施設の建替え・管理等に民間の資金やノウハウを活用する



施設の建替え・管理等に民間の資金やノウハウを活用することに肯定的な回答をした人は7割弱見られ、40歳代まで年代が上がるにつれて割合が増える傾向が見られた。

(4) 地域に密着した施設(交流センターなどは地域住民などが施設の維持管理を行う



地域密着型施設を住民が維持管理を行うことに対して肯定的な回答をした人が過半であり、30～40歳代では5割に満たず、50～60歳代では6割近くなった。

(5) 建替えではなく、現在の施設を改修してできるだけ長く使用する(施設長寿命化)



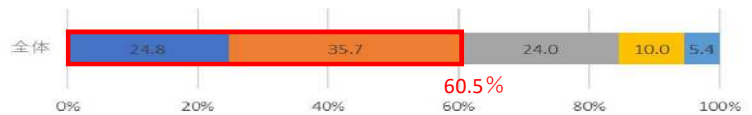
施設長寿命化に対して肯定的な回答をした人が7割近く見られ、20歳代以上のどの年代も半数を超えている。

(6) 民間施設の利用に対して助成することで、市の施設数を減らす



民間施設の利用に助成することで、市の施設数を減らすことを肯定的な回答をした人が6割以上であり、30歳以上のどの年代層も半数を超えている。

(7) 施設や土地の売却・賃貸して収入を得る



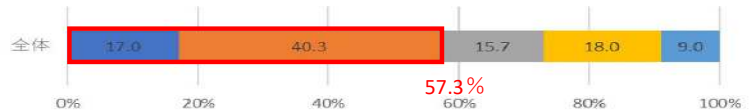
施設や土地の売却・賃貸して収入を得ることに肯定的な回答をした人が6割見られ、20歳代以上のどの年代層も半数を超えている。

(8) 施設におけるサービス水準を引き下げて、経費を抑える



施設のサービス水準を引き下げて、経費を抑えることに肯定的な回答をした人は3割弱であり、否定的な回答をした人が過半にのぼる結果となった。

(9) 利用者の負担額を適正化する(値上げ・減免の見直しなど)



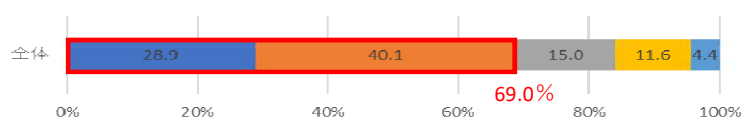
利用者の負担額を適正化することに肯定的な回答をした人が過半で、20～40歳代で高い傾向があるものの、50歳代以上は否定的な回答をした人が多く見られた。

(10) 増税などにより、経費を市民全体で負担する



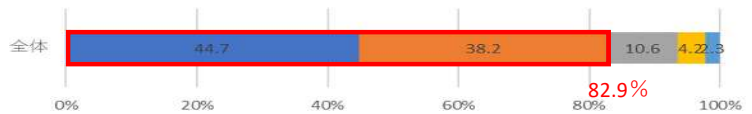
増税などにより経費を市民全体で負担することに、否定的な回答をした人は7割近くあり、どの年代層も消極的であった。

(11) 同類の民間施設がある場合の施設・機能の廃止



同類の民間施設がある場合、施設・機能の廃止を行うことに肯定的な回答をした人は7割近く見られ、60歳代まで割合が増える傾向があった。

(12) 利用が低い施設の廃止や他用途への転換



8割以上が肯定的な回答をしており、60歳代まで、年代があがるにつれて、その割合は増える傾向が見られた。

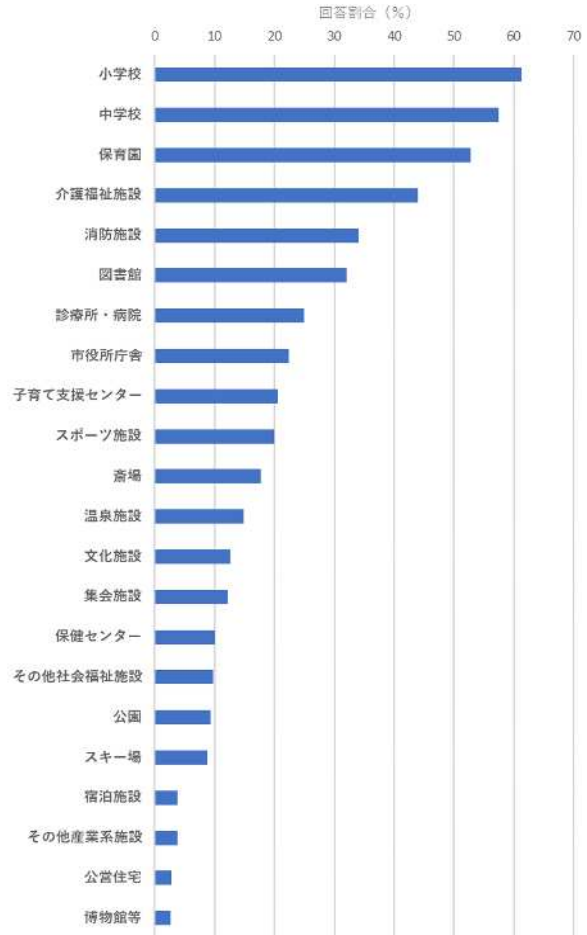
公共施設の今後のあり方について、取り組むべき課題解消は、「利用が低い施設の廃止や他機能への転換」で8割以上が「積極的に実施すべき」、「どちらかと言えば実施すべき」と回答し、以降、「施設を集約化・複合化することなどによって施設数を減らす」では7割以上、「建替えではなく、現在の施設を改修してできるだけ長く使用する(施設長寿命化)」、「施設の建替え・管理等に民間の資金やノウハウを活用する」が7割近い回答があった。

一方、「施設におけるサービス水準を引き下げて、経費を抑える」、「増税などにより、経費を市民全体で負担する」の項目については、賛同が少なかった。

8. 優先的に維持すべき公共施設について

《質問内容》南砺市が将来にわたり優先的に維持すべき公共施設を5つお選びください

順位	回答項目	回答数	回答割合 (%)
1	小学校	552	61.3
2	中学校	517	57.4
3	保育園	475	52.8
4	介護福祉施設	396	44.0
5	消防施設	307	34.1
6	図書館	288	32.0
7	診療所・病院	225	25.0
8	市役所庁舎	202	22.4
9	子育て支援センター	185	20.6
10	スポーツ施設	180	20.0
11	斎場	159	17.7
12	温泉施設	134	14.9
13	文化施設	113	12.6
14	集会施設(交流センター)	110	12.2
15	保健センター	91	10.1
16	その他社会福祉施設	88	9.8
17	公園	84	9.3
18	スキー場	78	8.7
19	宿泊施設	34	3.8
20	その他産業系施設	34	3.8
21	公営住宅	25	2.8
22	博物館等	23	2.6



優先的に維持すべき公共施設として、5割を超えたのは、小学校、中学校、保育園であった。そのほか3割以上の方が介護福祉施設、消防施設、図書館と回答した。一方で、1割に満たなかった公共施設は、その他社会福祉施設、公園、スキー場などの産業系施設、公営住宅、博物館等となった。

なお、「6. 公共施設の利用状況」において約5割以上の方が「利用した」と回答があった集会施設(交流センター)については、維持すべきと回答した人は1割程度と少ない結果となった。